

令和 5年度予算見積調書

課室名：みどり自然課
 担当名：野生生物担当
 内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P34	野生動物レスキュー事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	15, 17
					分野施策	1003	生物多様性の保全	SDGsターゲット	15-4, 15-7, 17-7
1 事業の概要 傷病野生鳥獣の野生復帰を目指した治療・リハビリ等を通じて、生物多様性の保全及び県民の野生動物保護思想の啓発を図る。 また、死亡野鳥等の調査の実施により、県民の安全、安心な生活を確保する。 ア 傷病野生鳥獣保護治療事業 6,005千円 イ 傷病野生鳥獣保護ボランティア事業 3千円 ウ 死亡野鳥等の調査 506千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 傷病野生鳥獣保護治療事業(通年) 6,005千円 保護された傷病野生鳥獣を県獣医師会を通じて民間獣医師に委託し保護治療を行う。 イ 傷病野生鳥獣保護ボランティア事業(通年) 3千円 治療後の野生復帰に向けてリハビリ等を行う傷病野生鳥獣保護ボランティアの育成・支援を行う。 ウ 死亡野鳥等の調査(通年) 506千円 野鳥の死亡個体等(衰弱個体を含む)について、鳥インフルエンザ検査等を行う。 鳥インフルエンザ発生時には野鳥監視重点区域内の監視強化を行う。 (2) 事業計画 ア 民間獣医師、保護ボランティア及び関係機関の連携による傷病野生鳥獣の保護。(傷病野生鳥獣保護治療事業、傷病野生鳥獣保護ボランティア事業) イ 死亡野鳥等の発生時に鳥インフルエンザ検査を実施。鳥インフルエンザ発生時には野鳥監視重点区域内の監視強化を行う。(死亡野鳥等の調査) (3) 事業効果 ア 野生復帰率の向上、生物多様性の保全、県民の鳥獣保護思想の啓発及び行政サービスの向上を図ることができる。 イ 死亡野鳥等における鳥インフルエンザ検査等を迅速に対応することで、県民の安全・安心な生活の確保を図ることができる。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費 (細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	6,514							6,514	100
前年額	6,414							6,414	

事業内訳書

事業名	野生動物レスキュー事業費			
単位事業名	傷病野生鳥獣保護治療事業	予算額	6,005千円	

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	5	0	事業関係書類送料
委託料	6,000	0	業務委託
合計	6,005	0	

単位事業名	傷病野生鳥獣保護ボランティア事業	予算額	3千円	
-------	------------------	-----	-----	--

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	1	0	ボランティア委嘱状用紙
役務費	2	0	事業関係書類送料
合計	3	0	

単位事業名	死亡野鳥等の調査	予算額	506千円
-------	----------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	97	97	状況調査有識者謝金
旅費	50	0	現地調査
需用費	359	3	現地調査用消耗品
合計	506	100	